

## ロンドンでもついに始まったレンタル自転車スキーム

ロンドン事務所

ヨーロッパでは以前からパリやブリュッセル等で市内中心部におけるレンタル自転車事業が行われていましたが、2010年7月30日、ロンドン市内でもレンタル自転車スキームが始まりました。ロンドン市内中心部（地下鉄のゾーン1の地域）の「ドッキング・ステーション」と呼ばれる約400の駐輪場に6,000台の自転車が設置されました。事業の運営はロンドン交通局が行っていますが、自転車の車体にはスポンサーとして2,500万ポンド（約33億7,500万円）を拠出したバークレイズ銀行の青いロゴがついています。ボリス・ジョンソン・ロンドン市長は自転車好きとして知られ、念願の事業開始であったことからこのレンタル自転車スキームは“Boris Bikes”（ボリス・バイク）とも呼ばれています。スキーム開始時そして開始後の利用促進を目指し、市長自らが機会あるごとに自転車に乗ってPRを行っています。

### 1 レンタル自転車の仕組み

このスキームはカナダのモントリオールのレンタル自転車 Bixi を参考に導入されました。利用者はインターネットで事前にユーザー登録が必要な「メンバー」（ICチップの入った電子キーが発行される）と登録が不要な「カジュアル・ユーザー」に分かれ、自転車を借りるにはアクセス料と時間に応じた利用料を支払います。アクセス料は24時間1ポンド（約135円）、7日間5ポンド（約675円）、1年間45ポンド（約6,075円）かかります。このスキームは短時間での利用を想定していることから、利用料は30分までは無料ですが、長時間の利用は高くなります。イブニングスタンダード紙によると年間メンバー代がパリの30ユーロ（約3,450円）、ブリュッセルとバルセロナの30.50ユーロ（約3,507円）に比べて高いという意見もありますが、ロンドン交通局の広報担当者は「30分以内の利用は無料であり、ロンドン市内中心部で最も安い交通手段である」と言っています。

<レンタル自転車利用料>

30分まで	無料
1時間まで	1ポンド(135円)
1時間半まで	4ポンド(540円)
2時間まで	6ポンド(810円)
2時間半まで	10ポンド(1,350円)
3時間まで	15ポンド(2,025円)
6時間まで	35ポンド(4,725円)
24時間まで(最大)	50ポンド(6,750円)



ドッキング・ステーションの様子。メンバーは電子キーで駐輪場に固定された自転車を外して利用する。カジュアル・ユーザーはその場で料金を支払い、利用できる。

自転車の車体にはスポンサーであるバークレイズ銀行のロゴが入っている。

## 2 スキーム開始当初の混乱

開始日になっても 6,000 台の自転車のうち 1,300 台の設置が完了していないという工事の遅れや駐輪場で自転車が外れない、コールセンターがパンク状態になるなどのトラブルが当初見られ、現在でも主要な駅での自転車や駐輪場の不足が問題となっています。また、登録が不要で観光客も利用できる「カジュアル・ユーザー」の自転車利用は 8 月末に開始される予定でしたが、準備が遅れており、イブニングスタンダード紙によると年末近くまでずれこみそうです。

しかし、導入 1 カ月で 6 万人以上の方がメンバーに登録し、通勤や休日にレンタル自転車を使用するロンドン市民の姿が多く見られるようになりました。特に 9 月 6 日から 7 日に行われた地下鉄のストライキでは、自転車のよさが再認識されたのではないかと思います。

## 3 今後の展望

ボリス・ジョンソン・ロンドン市長は自転車が環境保護、健康増進につながるとしてレンタル自転車のスキームを開始し、2025 年までに市内の自転車の利用を 2000 年比の 4 倍に増やしたいとしています。2012 年ロンドンオリンピックの開催地である市内東部までレンタル自転車の範囲を広げるといった計画もあります。

一方で市内中心部には自転車専用レーンがまだ少なく、レンタル自転車を利用してみるとバスやタクシーの交通量が多い道路を走るのには、慣れない人々にとっては注意が必要であることがわかります。そこでロンドン交通局は道路の混雑緩和と二酸化炭素排出削減を目指し、12 の自転車専用レーン（サイクル・スーパーハイウェイ）の整備を進めています。また、ロンドン市内で自転車イベントを開催したり、サイクリングマップを作成・配布したりする等、レンタル自転車事業開始に合わせて自転車の利用促進のための様々な取り組みが行われています。歴史と伝統を守りつつも新しいものにも柔軟なロンドン市民にとって、レンタル自転車はダブルデッカー（二階建てバス）や地下鉄、タクシーに次ぐ、ロンドン市民の足になるのではと思います。また、厳しい財政状況の中でも企業がスポンサーとなり、官民の協力で新しい事業を実施する方法は日本の自治体においても参考になる点が多いと思われました。



ロンドン市内で 9 月 5 日に行われた  
自転車イベント「スカイ・ライド」

「スカイ・ライド」当日、市内の一部  
の道路が自転車用に開放された。

ロンドン交通局が作成し配布してい  
るサイクリングマップ

ロンドン交通局 Transport for London

(<http://www.tfl.gov.uk/roadusers/cycling/14808.aspx>) 及び Evening Standard  
(2010/5/5, 7/23, 7/29, 7/30, 8/5, 8/13, 9/2)

(鹿野所長補佐 岐阜県派遣)